

torch（トーチ）にある「ガチャ」の販売台と特典おみくじ



人とつながる 玉みくじ

【日光】「ガチャ」と呼ばれるカプセルを購入すると、近くの飲食店や小売店で利用できる特典チケットが入っている。そんな取り組みが市内で始まっている。仕掛け人は、長年にわたって市内でさまざまな事業を営んできた清滝の「山本屋」専務の福田大介さん(42)。「ガチャをきっかけに新たな人と人の出会いの場をつくり、日光地域のにぎわい創出につなげたい」と狙いを説明する。(延藤哲史)

店舗で利用、店主情報も



カプセルに特典チケット

取り組みの名称は「日光人とつながるガチャおみくじ 日光玉みくじ」。販売台は、福田さんが経営するキャンプ場とワーキングスペースの複合施設「torch（トーチ）」（久次良町）の他、カフェ「megururi coffee」（中鉢石町）、カフェとレクニック用品レンタル店「PICNIC KKO（ピクニック）」（御幸町）の市内3カ所に設置している。1回500円でカプセルを買った、市内の飲食店や小売店で利用できる割引クーポンやノベルティの引換券、ゲストハウスの利用券といった「特典おみくじ」が入っている仕組みで、現在10種類以上のおみくじを用意。おみくじには当該店舗のオーナーの写真や出身地、趣味などの情報も掲載。店舗を訪れた際、オーナーと話すきっかけにしようという工夫した。福田さんによると、この取り組みは長野県白馬村が発祥。過疎化、高齢化に直面した地域を活性化しようと、同村では「村人に人生相談ができる」などのユニークな特典チケットを設定し注目を集めている。同村に続く類似した取り組みが国内でも数カ所で行われており、県内では今回が初めての導入とみられる。今後、福田さんは市内で特典おみくじに協力してく

る新たな店舗を増やした「Want（https://twitter.com/yamamikuji）」で申す「日光玉みくじ」アカし込みを受け付けている。

小学校高学年・中学生向け

年組

設問

下の会話は、この「ガチャ」を企画した福田大介さんへのインタビューです。会話の空欄に当てはまる内容について、記事に書かれた言葉を使って答えましょう。



質問者

福田さんは、どのようなねらいがあって、この「ガチャ」を始めたのですか。



福田さん

私は、この「ガチャ」をきっかけに新たな ① をつくり、日光地域のにぎわいが生まれることをねらっています。1回 ② 円のカプセルの中には、市内のお店で利用できる ③ クーポンやノベルティの引換券などの「特典おみくじ」が入っていますが、そこには、お店のオーナーの ④ や出身地、趣味などの情報も掲載しています。そういった情報があれば、お客さんがお店を訪れた際に、オーナーと ⑤ になると思ったのです。



質問者

このような取り組みが行われている場所は、日光市以外にもあるのでしょうか。



福田さん

⑥ 県内では私の企画が初めてですが、この取り組みは、⑦ 県白馬村で始まったもののようです。白馬村では、⑧ 化や⑨ 化におちいってしまった地域を活気づけようと、「⑩ 」などのユニークな特典チケットを設定して注目を集めているのですよ。この「ガチャ」を日光市内でもっと広めていきたいので、⑪ してくれる新たなお店を募集しているところです。